

令和 4 年10月15日(土) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



商大附各部の活躍

第90号
2022・10

「挨拶」



父母の会会長
中嶋 勝利

この度、令和四年父母の会会長を務めさせて頂くことになりました中嶋と申します。本年度宜しくお願い致します。

父母の会の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス拡大は、未だに勢いがとどまらない状況です。『withコロナ』明らかに変化しているのは、感染対策と感染者並びに濃厚接触者に対する速やかな対応と理解の違いが出ている事を感じられます。

今年度スタートし、三年ぶり従来の父母の会『令和四年度総会』、本役員引継ぎ会』並びに『学年別学級懇談会』を開催出来たおかげで、通常行事が出来る嬉しさを改めて感じた反面、活動できない事のもどかしさを感じておりまし

た。

今後予想を上回る環境変化が訪れます。変化に応じて『柔軟』に『敏速』に『創意工夫』を行える環境こそが、人が成長できるのではないのでしょうか。学校が掲げております建学の精神『自主』『自立』は、考えて行動を行える根幹だと思えます。

本来の父母の会の目的は、学校の教育の充実と発展に貢献する目的の実現に向けて『父母の会』の活動一つ一つが発展的取組、より良い意見が反映できる環境、学校・生徒のサポート役として活動を図ってまいります。

ぜひとも『父母の会』の活動にご賛同いただき、ご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。

最後に、with新型コロナとして向き合い、互いに分ち合い、敬う気持ちを忘れずに乗り切った先には、新たな希望が持てる未来がやって来る事をお祈り致します。



「挨拶」



校長
安齊 義宏

父母の会会員の皆様には日頃より本校の教育活動に對しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスは今もお収束の見えない状況が続いておりますが、令和四年度の父母の会活動では皆様のご協力により、五月に総会を対面で開催することができました。総会では役員改選も行われ、これまで本校における教育の充実と発展にご尽力くださいました若林会長をはじめとした旧三学年の役員の皆様方にはこの場をお借りして心より感謝申し上げます。また、新しく役員をお引き受けくださいました中嶋会長はじめ、新役員の皆様方におかれましては一年間どうぞ宜しくお願い致します。

父母の会活動も総会につきき六月には公開授業を実施し、日頃の

子供たちの学習の様子を見学していただきました。また、学年学級懇談会では全体会に加え、クラス保護者同士が対面し、子供たちの成長のために有意義な意見交換がなされました。

生徒においては新しく四六四名の新生入生を受け入れ新年度をスタートすることができ、オンライン授業も併用しながら「学びの継続」を念頭に教育活動を展開してきました。また、高校時代の貴重な三年間に実施される行事を可能な限り進めて行こうと考えているところでもあります。三年生においては中止となった修学旅行の代替として東京デイズニールゾートへの宿泊旅行を行うことができ、ひと時でも夢の世界に浸ることができたようです。部活動では全ての部が大会や発表会をはじめ、それぞれの活動に精一杯取り組み結果も残してくれました。三年ぶりに行動制限のない夏休みに入り、今年のインターハイは五つの部活が出場し、四国の地で活躍してくれました。また、校内においては自主学習に打ち込む生徒、先生や保護者を交え進路達成に向けた三者面談を行う姿など、有効にこの期間を活用してい

の様子が見られました。

二期期が始まり元気な姿で登校する生徒たちを校門で出迎えると、嬉しそうに登校する生徒、少し眠そうな様子の生徒など、その姿を見てとてもうれしく感じました。

学期が始まって間もなく一、二年生は劇団四季劇場での演劇鑑賞会を行いました。私も一年生と一緒に「アナと雪の女王」を鑑賞してきました。プロの演技に興奮と感動を覚え、内容もとても興味深く、あっという間の時間でした。劇中で雪だるまのオラフが言った「真実の愛とは相手の事を大切に思うことだ」という言葉に共感し、私たちみんなが自分本位でなく他人を思いやる心を大切にしていけたらと感じました。

二期期は商大附高祭も予定しています。日々の学習に加えこうした行事の中からも子供たちの感性、創造力、行動力を育んでいきたいと思えます。

一学期にご協力いただきました「学校評価アンケート」におきましては貴重なご意見・ご感想をいただきありがとうございます。内容を精査しながら改善に努めます。

学校においては今後も生徒の安全と安心、学びの継続を考え、そして生徒たちがどんな逆境でも諦めず、知恵を借り、柔軟な発想で目標に向かい進んで行ってくれることを期待しています。ご父母の皆様におかれましても健康にご留意され、私たち職員と共に、子供たちを支えていただきますようお願い申し上げます。

学年委員長挨拶

三年委員長 水井 悟

時が経つのは早いもので高校生活も残すところ僅かとなりました。思い返せば三年前、新型コロナウイルスによる影響で学校生活のスタートが遅れ、様々な行事やスポーツ大会も中止となりました。その様な環境の中であっても生徒達は仲間と色々な経験を積み重ね切磋琢磨しながら一歩一歩確実に成長した高校生活を過ごしてきました。残念ながらその後もコロナウイルスは収束せず、二年生で実施される予定であった修学旅行も中止となりました。生徒たちは落胆し

たと思いますが、のちにディズニーストリート一泊二日の宿泊研修が企画され大変喜ばれたと思います。

先日行われた学年・学級懇談会での学年統一テーマ『進路達成に向けて』のなかで先生方から丁寧にご説明を頂きました。二期期を迎えて生徒たちは自分の進路を決定する重大な局面を迎え、既に進路が決定している生徒もいれば受験に向けて勉強している生徒もいるでしょう。進路が決まっても卒業証書を授与されるまでは気を抜くことなく適度な緊張感をもって残りの高校生活を有意義に過ごしてください。

今年度は商大附高祭が開催される予定です。「第七波」が急拡大しておりますが、生徒たちの姿を保護者の皆様に見て頂きたいと思っておりますので、開催された際にはご協力の程宜しくお願い申し上げます。

二年委員長 神宮 美和子

昨年に引き続き学年委員長を務めさせて頂きます神宮です。宜しくお願い申し上げます。

早いもので二年生はもう高校生活の半分が過ぎようとしています。

自分の将来に向かって色々な決断をする時期となりました。学校の活動では中心的な存在として活躍していく一方で、進路を具体的に考えなければなりません。社会に出て必要とされる人となり、悔いのない選択をしてみたいです。

七月に行われた「進路実現に向けて」の学年・学級懇談会では、改めて日々の会話や話し合いで子供の将来に対する目的意識を確認することの大切さを再認識しました。

親として、進路選択に悩んでしまう子供に対して不安を感じてしまえます。しかし、親が子供の可能性を否定してはいけません。たとえ厳しい道のりでも、その一歩を踏み出す手助けをしたいと思えます。

最後に、先生方には日頃から子供達へのご指導頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。今後共にご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

一年委員長 中林 桂

今年度、一年委員長を務めさせて頂くことになりました中林と申します。まだまだ不慣れな為、

皆様にはご迷惑をお掛けしてしま
うかもしれませんが、先生方と協
力をしてより良い学校を目指して
いきたいと思っております。

コロナウイルス感染防止に努め
ながら入学し、早くも二学期とな
りました。

その様な中でも子供達は、学業
や部活動に励み新しい友達が出来
たりしながら、高校生活を楽しん
でいる様です。また、様々な制約
のある中で子供達の為に日々尽力
くださっている先生方には感謝い
たします。

本年度から三年間皆様と一緒に
父母の会の活動をさせて頂く事を
大変嬉しく思っております。

子供達の成長はあつという間で
すので、その成長をしつかり見守
り、楽しく学校に通う事が出来る
様協力するのも親の務めだと思っ
ております。父母の会の活動を通
して、是非皆さんと一緒に子供達
を見守っていききたいと思いま
す。何かとご協力をお願いする事
があるかと思いますが、是非その際
は宜しくお願い申し上げます。

また、是非父母の会の活動にご
参加頂けますようお願い申し上げ
ます。

父母の会総会報告

令和四年度父母の会・部活動後
援会の総会が五月二十一日(土)
午後一時より本校講堂にて三年ぶ
りに集会開催されました。出席者
二一四名、委任状九八二名、有効
総数一九六名と過半数を満たし
たため総会は成立いたしました。
総会には井堀前副会長の司会進行、
松澤前書記による開会宣言で始ま

り、若林会長、安齊校長より挨拶、
学校の近況報告がありました。続
いて議事に入り、事務局より令和
三年度事業報告、決算報告並びに
徳井監事より監査報告があり、慎
重審議のもと承認されました。次
に本部役員の改選が行われ令和四
年度新会長に中嶋勝利さんが選出
されました。同時に副会長三名以
下総勢四十名の役員が選出、承認
され、新体制がスタートいたしま
した。新役員を代表して中嶋新会
長挨拶の後、事務局より令和四年

度事業計画案、予算案が発表され、
原案通り承認されました。続いて
中嶋新会長より若林前会長の顧問
就任が提案され、承認されました。
また、学年役員の各学年委員長と
して、三学年委員長水井悟さん、
二学年委員長長神宮美和子さん、
一年学年委員長中林桂さんが紹介
されました。
最後に、本会にご尽力頂いた若
林前会長始め、退任された役員の方
々に、学校長より感謝状と記念
品が贈呈され、退任者挨拶の後、

令和4年度 父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会 長	中嶋勝利 (F3-11)	理 事	市川貴子 (F2-2)
副会長	水井 悟 (F3-9)	荻原寿枝 (F2-3)	鈴木珠美 (F2-4)
	神宮美和子 (F2-8)	荻久保 潤 (F2-5)	東山敦美 (F2-6)
	中林 桂 (F1-2)	高橋智子 (F2-7)	原 明子 (F2-8)
書 記	徳井直機 (F3-6)	豊田みずゝ (F2-9)	村上小百合 (F2-11)
	山岸千冬 (F2-1)	矢内真紀子 (S2-2)	
	下田寛太 (事務室)		
会 計	原田千佳子 (F3-7)	監 事	高橋浩美 (F3-10)
	藤田由美子 (S2-1)	小林智美 (F3-11)	宮崎真里 (S3-2)
	板垣哲平 (事務室)	遠間誠樹 (F3-2)	松井伸一 (F2-9)
理 事	茂木輝章 (F3-1)	松井 國治 (F2-10)	堀口 泰 (S2-1)
	神宮晃子 (F3-2)	間正良昭 (F1-4)	永田 衛 (F1-7)
	飯島紀子 (F3-3)	山田 絢子 (F1-8)	根岸由美子 (F1-9)
	坂本理恵子 (F3-4)	織 茂 恵子 (F1-10)	
	青井美津留 (F3-5)		
	戸部史子 (F3-8)		
	有坂理絵 (S3-1)		
	佐野恵美子 (S3-3)		

水井新副会長の閉会
挨拶があり、会員の
皆様のご協力をもち
まして総会は滞りな
く終了しました。
なお、総会の結果
につきましてはクラッ
シーにてご報告させ
て頂いており、令和
四年度父母の会・部
活動後援会本部役員
は別記の通りとなり
ます。今年度もどう
ぞご協力の程よろし
くお願いいたします。
(書記 下田寛太)

父母の会 令和3年度決算報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
会 費	16,188,000	16,360,000	△ 172,000	@1,000×1,349人×12ヶ月
入 会 金	2,295,000	2,295,000	0	@5,000×459人
受 取 利 息	3,000	156	2,844	定期預金・普通預金
衛 生 費	1,369,000	1,370,000	△ 1,000	@1,000×1,369人
前年度繰越金	8,163,433	8,163,433	0	普通預金 7,977,994円/現金 185,439円
合 計	28,018,433	28,188,589	△ 170,156	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
備 品 費	2,500,000	991,760	1,508,240	第4校舎教室カーテン入替、第4校舎トイレ改修
会 議 費	1,500,000	175,241	1,324,759	役員会・学年・学級懇談会経費
慶 弔 費	350,000	299,310	50,690	香典・花輪・饌別
補 導 費	50,000	3,820	46,180	校外の生活指導費・情報交換会等
環 境 整 美 費	2,000,000	1,117,538	882,462	掃除用品・ゴミ処理他
保 健 衛 生 費	1,800,000	1,438,800	361,200	汚物処理・保健室常備薬等
旅 費 交 通 費	200,000	25,000	175,000	役員研修交通費等
部 活 動 賛 助 費	1,500,000	1,500,000	0	部活動後援会の補助
通 信 費	1,500,000	1,554,320	△ 54,320	生徒・保護者利用連絡システム利用料
消 耗 品 費	30,000	415	29,585	コピー用紙等
進 路 対 策 費	2,000,000	1,531,266	468,734	進路資料、2022年度版大学入試シリーズ
生 徒 会 事 業 協 力 費	2,000,000	2,448,178	△ 448,178	スポーツ祭・予餞会協力金
卒 業 生 記 念 品 費	400,000	230,000	170,000	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	700,000	222,200	477,800	教職員研修補助
印 刷 費	1,000,000	456,940	543,060	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	1,500,000	490,791	1,009,209	車輛維持・燃料代・修理代
諸 会 費	4,000,000	2,982,513	1,017,487	PTA 連合会費・スポーツ振興センター負担金 高 P 連賠償責任補償制度加入
雑 費	200,000	105,622	94,378	大会パンフレット協賛広告料等
車 輛 償 却 引 当 預 金	2,000,000	2,000,000	0	特別繰越金
創 立 120 周 年 記 念 事 業 費	1,000,000	1,000,000	0	
育 英 基 金 協 力 金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[予 備 費]	300,000	0	300,000	
次 年 度 繰 越 金	488,433	8,614,875	△ 8,126,442	普通預金 8,614,875円/現金 0円
合 計	28,018,433	28,188,589	△ 170,156	

※特別繰越金

科 目		金 額	科 目		金 額
車 輛 償 却 引 当 預 金	前期末積立累計額	2,000,000	創 立 120 周 年 記 念 事 業 積 立 金	前 期 積 立 累 計 額	4,000,000
	当 期 預 入 額	2,000,000		当 期 積 立 額	1,000,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)		4,000,000	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)		5,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長
 " 父母の会 会計
 " 事 務 局

部活動後援会 令和3年度決算報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	24,282,000	24,540,000	△ 258,000	@1,500×1,349人×12ヶ月
入 会 金	2,295,000	2,295,000	0	@5,000×459人
賛 助 会 費	2,000,000	1,500,000	500,000	父母の会 150万円 同窓会 50万円
寄 附 金 収 入	300,000	353,975	△ 53,975	自動販売機売上手数料
受 取 利 息	3,000	307	2,693	定期預金、普通預金
車 輛 購 入 費	0	0	0	
前年度繰越預り金	3,382,020	3,382,052	△ 32	春高バレー預り預金
前 年 度 繰 越 金	15,129,740	15,129,740	0	普通預金 14,761,975円/現金 367,765円
合 計	47,391,760	47,201,074	190,686	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
大 会 費	20,000,000	12,715,795	7,284,205	各種大会等参加時宿泊費他
報 償 費	8,000,000	7,349,590	650,410	講師、コーチ等の謝礼
合 宿 費	1,500,000	175,900	1,324,100	合宿補助
備 品 費	2,500,000	1,727,258	772,742	吹奏楽部楽器、剣道部竹刀他
強 化 費	3,500,000	568,640	2,931,360	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉 外 費	150,000	139,144	10,856	広告協賛金他
車 輛 運 営 費	1,600,000	456,597	1,143,403	車輛維持費・燃料代・修理代
車 輛 償 却 引 当 預 金	3,500,000	3,500,000	0	積立定期預金
雑 費	50,000	0	50,000	
部 活 動 振 興 基 金	2,500,000	2,500,000	0	積立定期預金
車 輛 購 入 費	0	0	0	
預り金次年度繰越金	3,382,020	3,382,052	△ 32	春高バレー出場の場合のみ使用
[予 備 費]	200,000	0	200,000	
次 年 度 繰 越 金	509,740	14,686,098	△ 14,176,358	
合 計	47,391,760	47,201,074	190,686	

※ 寄附金収入について： 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
部活動振興基金	前期末積立累計額 15,000,000	車 輛 償 却 引 当 預 金	前期末積立累計額 11,500,000
	当 期 積 立 額 2,500,000		当 期 積 立 額 3,500,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	17,500,000	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	15,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

〃

〃

部活動後援会 会長

部活動後援会 会計

事 務 局

一年生
父母が語る

我が子に望む
高校生活

普通科特選 松原美佐子

穏やかなのんびり育ってほしいと願い、娘に「のん」と名前をつけました。

願い通りに穏やかで優しい子に育っていると思いますが、学校生活はなかなか忙しく、充実した毎日を送っています。

今まで友人関係、部活動、習い事、遊び、勉強と娘なりによく頑張ってきたと思います。

かわいい制服を着て、第一志望の商大附へ笑顔で登校でき、担任の先生にもクラスメイトにも恵まれ、ほっと一安心です。

部活動はフラッグやライフルを使って身体表現をするペップアーツ部に入部し、頑張っています。

商大附のペップアーツ部はレベルが高く、初めてのことでただで大変なことも多いようですが、その分やりがいもあるようです。

コロナ禍のこの三年間、行事やイベントが軒並み中止・縮小とな



不完全燃焼続きでした。青春といえ「高校生」です。自分の思い描く将来に向けて後悔しないようできる努力を日々してもらいたいと思っています。親として見守り、一番の味方になり、応援していきたいと思いません。

普通科特進 間正良昭

娘は進路について、自ら考え悩み、中学校の友達もいない新しい環境に身を置くことを選択し、商大附に進学することを決めました。新たな一歩を踏み出した娘に、不安もありましたが、あつという間に友達もでき、部活動でも優しい先輩や同級生にも恵まれ、楽しい毎日を過ごしているようです。

娘に望む高校生活は、ただ漫然と過ごすものではなく、目標をしっかりと立て、その目標に向かってチャレンジしていく、そんな高校生活を望んでおります。経営コンサルタントの小宮一慶さんの本の中に「散歩のついでに富士山に登った人はいない」という言葉があります。散歩をしている人は漫然と歩いているだけです、富士山に登る人は、それなりの装備や準備をして、富士山の頂上を目指し歩みを進めていきます。歩くという行為自体は同じでも、目標を持っているか、持っていないかで結果は大きく変わってきます。

高校生活の三年間はあつという間に過ぎて行きます。だからこそ漫然と過ごすのではなく、目標を持って、その目標に向かって、一歩一歩、後悔のない充実した高校生活を送って欲しいと思います。

普通科進学 根岸由美

憧れの制服をとでも楽しみに、緊張感を持って受験に臨む事ができました。受験の手続きなど、自分から進んで準備をするなど、高校生を目の前に娘の成長を感じて

いました。

「高校生になったら、お母さんお弁当作り頑張つて。」と笑顔で言っていた事が印象に残っています。私の苦手分野でしたが一学期は乗り越えた様です。

高崎音楽センターでの入学式を終え、新しく学校生活が始まり、部活の勧誘のチラシをもらったり、校内にコンビニがあったりと今までとは違った環境にワクワクしている様子が伺えました。

部活では運動部に入り、この夏休みは仲間と共にたくさん汗を流し頑張っていた姿を見ました。運動・勉強に励み、感動する心を持つて成長していつてもらえたら嬉しいです。

何かを乗り越えられたらもつと良い事があると努力をし、困つてわからなくなった時は本を読んだり、相談をして解決できる方法を探してほしいです。

コロナ禍や地球環境の変化の中で考える事も多いですが、充実した高校生活が送れます様に温かく見守り応援していきたいと思っています。

総合ビジネス科 大久保英恵

自分自身の力で勝ち取った合格。娘は、自身で高校を選び、憧れていた制服を着れた時には満面の笑みで喜んでいました。勉強はあまり得意ではないけれど、受験勉強はとて頑張っていました。親として誇りに思える程です。

高校入学後は、同じ中学の子もいなく、友達ができるか心配でしたが、クラスでは気の合う友達ができ、休み時間などは楽しく過ごしている話を聞き安心していきます。部活動では、コースの違う友達との交流もでき、先輩方にも支えられ日々充実した生活を送っているようです。

高校三年間は長い様でとても短いです。まずは何事にも自信を持つて取り組んで欲しいです。高校という新しい環境で学ぶのは不安なこともあると思います。失敗することもあるかもしれませんが、でもそれらを恐れることなく新しいことにチャレンジして行ってほしいと思います。その方がきっと楽しい高校生活が送れると思います。次に自分で自分自身を観察する力を磨き、自分自身をよく知って

ほしいです。得意分野を生かし、苦手な部分は目標を持って取り組み、出来ないことは援助してもらおう。一人で出来ないことでも先生や友達に教えてもらったり、お互いに助け合うことも学んでほしいです。

高校生活三年間を通して、たくさん友達を作り、勉強、部活、遊びと思いつき楽しんで欲しいと思います。その中で娘の将来進みたい方向性が見つけられるといいです。親としてこれからも一番の理解者として、後押ししていきたいと思えます。今後の成長、楽しみにしています。

生 年 二 母 父 が 話 する 我が高校時代 夏の思い出

普通科特選 山岸千冬

高校時代の夏の思い出と言えば部活三昧の日々を送っていた事です。吹奏楽部に所属していた私。コンクールやマーチング大会出場に向け練習に励んでいました。それこそ夏休みは、朝から夜まで学

校や市内の体育館、河川敷のグラウンドでは夜で足元が見えなくなると照明機材を使用し練習していました。その合間に大会や遠征などで県外に行く事もありました。合宿では保護者も一緒に参加し、一日中励まし支えて頂いた事を今でも記憶しています。

コロナ禍での生活はまだ継続しており、少しずつ行事は出来る様になっても、自分達が思い描いた高校生活とはかけ離れていると思います。私達が過ごした高校時代とは違い過ぎ、子供達が不憫ではありません。そして来年は受験生。Action is the foundational key to all success.

これはパブロ・ピカソの言葉です。目先の事にとらわれすぎて未だ目標が見出せない日々を送っている様に見えます。支えてくれる先生方や友達、家族がいるので、自分の選択を信じ、この夏から新たな一歩を踏み出す努力をして欲しいと願います。この言葉を子供に送りたいと思います。

普通科特選 鈴木珠美

娘が通う商科大学附属高校は私

の母校でもあります。娘の入学が決まり、久しぶりに入った校舎は懐かしく自分が通っていた頃の気持ちがよくえってきたことを思い出します。私の高校時代の夏休みの思い出といえば部活動の思い出です。吹奏楽部に入っていたのですが、当時は辛いな、部活に行くのが嫌だなと毎日思っていました。ですが今振り返ってみると、かけがえのない楽しい時間だったと思います。最後まであきらめずに粘り強く取り組むこと、仲間を大切にして皆で一つの曲を作り上げること、他愛のないことで涙がでるまで笑ったこと、夕立の雨の中楽器を吹いたこと、真っ黒に日焼けするまで夢中で体を動かしたこと。大人になった今では経験することのできない濃い夏休みでした。娘が話してくれる学校での様子は、思わず私も笑ってしまう話が多かったです。楽しい高校生活を過ごしていることが伝わってきます。私と同じように、あの時は楽しかったな」と振り返ることができると、親として出来ることを、これからもサポートしていきたいと思っています。

普通科特選国際 荻久保 潤

高校の夏の思い出といえば、私が高校二年の時一泊二日で榛名湖にあるキャンプ場へ行ったことです。仲の良い四人組で一班をつくり一日目の夕食のメニュー決めを相談したことを覚えています。キャンプをしたことのない四人でしたので初心者でも難しくないキャンプ定番のメニュー、カレーを作ることにしました。又、デザートもあつた方が楽しいよね、とゼリーも作ることにしました。カレーは火を起すところからです。火の起こし方をキャンプ場の職員の方に教わり、その通りにしているのですが、コツがかめず成功するまでに時間がかかってしまいました。夕食の時間にも限りがあるのて出来上がったカレーはにんじん、じゃがいも、玉ネギどれも火が通っておらず固かったのですが、一人の友達が「じゃがいもは生だとなかなかを壊すから食べないで！」「にんじん、玉ねぎは食べても大丈夫だからね。」と真剣に話してくれた顔が今でも懐かしく、可愛らしい思い出として記憶に残って

い新型コロナウイルスの影響で高校生活も私達の頃とは大きく違います。学校ではイベントの中止、行事の縮小、オンライン授業、外に出れば、時差通学、三密回避、マスク着用など、人生の中で楽しいと言ってもいい時期に不安な生活を強いられ我慢する事も多かったです。この苦しい時期を乗り越えれば必ず輝かしい未来が来ると信じて頑張つて欲しいと思います。

高校生活も残り約半年となり、ラストスパートの時期です。うちの娘は「進学志望」。夏休みはオーブンキャンプスに行き、学校説明、校内見学、体験授業などを体験し、楽しそうに私に話してくれました。不安もあるでしょうが、今まで頑張っている所を見てきて成長を感じ、また、たくましくも思えました。

これからは、自分のやりたい事を見つけ、その夢に向かって努力し続け、自分を信じ、達成してもらいたいと思います。

また、どんな小さな事でもよいので、悩んだ時は家族に相談してほしいです。いつでも応援しています。

普通科特進 坂本 理恵子

「楽しかったから、もう一泊したかったな。」娘が、修学旅行代替旅行のドイツニールランドから帰宅した時の笑顔が、とても印象的でした。

長引くコロナの影響で、さまざまな行事が中止や延期となる中、高校の友達と過ごした一泊二日の旅行は、一層思い出深い経験になった事でしょう。今回の旅行を実施して下さった校長先生はじめ先生方のご尽力に心より感謝いたします。

我が家は、祖父母と同居をしております。娘はもし自分が感染してしまつた時は、祖父母の命に関わると心配して、より慎重に行動しています。将来は介護福祉の仕事がしたいと、目標に向かい努力しています。いつの間にか、娘の成長した姿を見て、頼もしく感じました。

最近では感染拡大に伴う行動制限が解け、少しずつですが活気が戻りつつあります。オンラインでも声が届きますし、内容も伝わります。ですが、直接対話する事で感じ取れるものや、実際に触れ合

うからこそ伝わるものも大切だと実感しました。

日々、目まぐるしく変化する社会の中で、柔軟に対応しつつ、心身共に健康であつてほしいと願います。時には少し体の力を抜く事も大切です。

夢に向かって努力している姿をいつも応援しています。

普通科特進国際 中井 亜沙子

新型コロナウイルスの感染が広がり始めた時期に入学し、スタートからコロナ禍の影響を最も受けた、あなたの高校生活。感染防止という事で様々な事が中止になり、イベント参加など積極的に行動ができない中、度々高校生活に疑問を持った時もありました。その中でできることを頑張りました。そのが二年生になってからです。私の体調不良もありサポートのできない時期もありましたが、それが良い転機になり、自立の為の練習になったようです。元々興味の無いことには全く気力が出ないあなたに、私はあなたの将来を不安に思うときもありましたが、将来について自分なりに考えていること

をたまに夜中まで話し合い、その考えがしっかりとしていることに安心しています。長い人生にはコロナ禍のように理不尽な事がしばしば起こるものですが、そんな時はその何かを原因や言い訳にせず、できることを考え、他人に左右されず、その先へ世界へと大きく自由に進んで欲しいと思います。あとは、朝しっかりと起きられるようになる事ですが、自分の責任という事になればできると思います。

普通科進学 原田 千佳子

コロナ禍が始まつた高校生活。楽しみにしていた事が中止となり、何もかもが制限される事となり、大丈夫だろうか？と心配したのは親の方でしたね。

当たり前の事が出来ない中で貴方は、友達も作り、楽しみを見つけ、目標を持って高校生活を送つて来た日々を見て、「強くなつたな」と安心しました。

この夏まで目標にできたインターハイ、ここまで良く頑張つたと思います。たくさん悔しい思いや怪我にも悩まされたりしていた時も今の自分出来る事をする、

皆と一緒に居たいと一日も休まず足を引きずりながらも部活に参加し、そして復帰した貴方は、諦めない気持ち、そして仲間のありがたさ、大切さを身に染みて感じたとと思います。きっとその中で将来の夢が鮮明となったのだろうと思います。辛い思いも全部無駄ではなかった証ですね。

その気持ちや周りの人達に感謝する心を忘れなければ何でも出来ると思っています。

何回道を間違っても、迷っても立ち止まっても進む気持ちだけは、持っていれば大丈夫。

貴方が帰って来る場所は、あるから安心してチャレンジして下さい。出来ない中で出来る事を見つけ、これからの人生を楽しむ為に毎日を大切に送って下さいね。

毎日の学校の様子を聞く事もあと少し、貴方が自立して親元から離れてやれるのか正直不安や心配は、ありますが貴方が自分の夢を叶える事に頑張っていくならば私達は、ずっと応援しています。

何もしないで後悔するような事はないように、何事にも取り組んでいけるはずと信じています。

総合ビジネス科 宮崎真里

新型コロナウイルスの影響で、入学式なし、学校行事もほとんどない高校生活でしたが、良き友、信頼できる先生方との出会いがあり、また夢になれる趣味もでき、そしてその趣味を通じて学校以外の活動も楽しめ、親から見ても充実した三年間なのではないかと思っています。

進路についても本人がやりたいことが見つかるまで見守ろうと様子を見ていましたが、まずは自立をしてほしいので、なるべく簡単に帰って来ることができなくらい遠方の学校に進学を望んでいます。

私が学生だったころはネットが少なく、周りにいる大人たちも何も教えてくれず非常に無知でした。もし自分が学生の頃いろいろな事を教えてくれる大人が近くに居てくれたらもっと選択枠も広がったのでは？と少し悔しい思いをしたのを覚えています。だから我が子にはそんな思いをしてほしくない一心で幼いころからいろいろな体験とたくさん景色を見せて来ました。そして例え成績が悪くて

も、学歴が低くても大企業に就職できなくても、それがすべてではない。アイデアと努力で人生はどうにでもなる！私たち親は我が子が自立して、好きなことを仕事にして幸福感に満たされ歳を重ねていくことを願っているだけ。自分の夢に向かって、そしてその夢の実現のためにもうひと踏ん張り学生生活を頑張ってほしいです。



特別進学選抜・特別進学・特別進学コース

一年主任 茂野宏道

一年生が入学し、ようやく一学期が終わりました。コロナウイルスに関しては相変わらず収まる様子が見られませんが、生徒にとっては中学校時代と生活も一変し、行事やテストに追われる多忙な日々

だったのではないのでしょうか。新しい環境に身を置くといいことは、期待もありますが、誰しも不安を抱えるものです。このコースでは特に授業についていけないか、という不安を抱える生徒が多いようです。

この世代は、今回の新カリキュラムがスタートした最初の代です。カリキュラム変更に伴い本校の時間割の形式も大幅に変わりました。特進特選でも七時間目の授業、土曜の授業がなくなり、自由度の高い選択制の土曜講座を実施、また、六限で終わることで放課後も四時前から自習の時間を作ることができるようになりました。まだ一年生の生徒にとっては不安も多い高校生活ですが、こういった制度なども活用し、勉強でも部活でも、課外活動でも、とにかく一生懸命取り組んでほしいと思います。我々もそのために全力を尽くしたいと思えます。

特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

一年主任 内田由香

「暦の上では秋」という言葉も

ど吹く風と言うかのように、一向に暑さが弱まる気配もない中、今年も夏休みが終わっていききました。例年と異なるのは、行動制限がないという点です。感染者増の中であったとは言え、昨年までとは違った過ごし方をした生徒も多かったように思います。

長く続くコロナ禍ではありませんが、一学期には東武動物公園へのバス旅行を実施することができませんでした。久しぶりの校外での行事で生徒たちの楽しそうな姿を目にして、長く強いられていた我慢の状況から様々なことを取り返そうと楽しむ、たくましさを感じることでできました。三月には高校生活最大の行事である修学旅行が控えています。これまでの期間で、私たちは感染に注意しながら行動する知恵を身につけてきました。修学旅行もさまざまな知恵を出し合い、実現に向けて努めていききたいと思っています。

少しずつですが、様々な経験を積める状況になりつつあります。二年生という進路実現に向けての大切な時期にいる生徒たちの学びや体験を、しっかりとサポートしていききたいと思います。

特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

三年主任 山田智恵

現在、コロナウイルス第七波が猛威を振るい、日々過去最高の感染者数を更新していますが、振り返ってみますと、今年の一学期には念願の日帰り旅行や修学旅行代替宿泊研修といった、初めての校外での行事が実現し、大切な高校生活の思い出を作ることができました。

一学期後半からは、部活動で三年間の集大成となる大会を経験し、いよいよ進路達成に向けて舵をきいた人が多かったのではないでしょう。夏休み中の対面型オープンキャンパスや三者面談を通して、それぞれが希望進路を確認し、具体的な準備を進めてきたこととします。

二学期からは共通テストの出願や推薦入試、また総合型選抜の入試も始まります。不安や焦りをゼロにすることは難しいと思います。周りにはきつと同じような思いで頑張っている仲間がいるはず。進む道は違っても、進路達成を願う気持ちは同じです。励ま

し合い、支え合い、共に進んで行きましょう。そして一番近くで応援して下さい。ご家族の存在も忘れないで欲しいと思います。

全員の進路達成を目指して、私たち教職員も伴走します。

一学年進学コース主任

田村章

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって二年が経ちそろそろ収束に向かうのではと思ったのもつかの間、第七波が押し寄せ、世界一の感染者数になってしまいました。そんな中、本校に入学し、半年が経とうとしています。高校生活に慣れることに重点が置かれ自分のペーソスを作るのに精一杯だった一学期も終わり、初めての夏休みも終わりました。二学期はそれぞれの教科の学習内容も高度になります。受け身の学習から能動的な学習へと変えていかないと成果を上げるのが難しくなります。これからの高校生活をどう過ごすか、よく考えて目標を持って二学期に臨んで欲しいと思います。この夏休みを利用して、自分の進路に向けて考える時間を作ることができました。

か？この時期から進路達成に向けて取り組み始めることが大切です。まずは文系理系の選択を間違いない行っていくください。

進学コースは部活動と勉強の両立という目標を掲げております。人数の一番多いコースでもあり、部活動の中心的存在となつていると思います。今年の夏休みも数多くの先輩方が活躍し、立派な成績を残しました。先輩方が引退した後は、今まで以上に部活動への取り組みを積極的にし、半年後に入ってくる後輩の手下になるように行動してほしいと思います。高校時代はあつという間に過ぎてしまいきます。時間を無駄にせず、失敗を恐れずに頑張ってください。

一学期の進学コースは在籍二七二名のうち、一六四名が皆勤しました。この数は入学してから緊張して生活してきたからかもしれません。二学期は中だるみの時期と言われますが、良い意味で緊張を持続して生活してほしいと思います。心の乱れは服装、頭髮、行動に現れます。高校生らしい清潔な身だしなみを心掛けるようお願いいたします。

二学年進学コース主任

上和田 直

高校時代は人格の形成に最も重要な時期です。その中でも、二年生での学校生活は特に重要になります。学業では、進路達成に向けて準備が充実していること。二年生の時に、今年が勝負だと思って勉強することです。部活動では、中心となって部をまとめ、統率していく学年です。後輩たちの良い手本となり、実績を上げていく責任があります。

高校生活にも慣れ、自分自身にも余裕が持ててきたと思いますが、その中で、将来の自分に向けてこの大事な時期をどのように過ごすかで、人生に影響を与えるのではないかと思います。しかし、思春期でもあるため、いろいろな事に不安になったり、自分自身に自信が持てなかったり、時には、友人関係がうまく構築できず悩んでしまう事もあると思います。このような事を経験した生徒たちは本当に辛いと思いますが、これは成長過程だと思えます。そんな時こそ、経験のある大人たちが、生徒たち一人一人に向き合う事が大事だと

思います。

人間的に大きく成長するこの時期は、悩みや、不安を乗り越える時でもあります。学校と、ご家庭で協力し、生徒たち一人一人が成長する第一歩の背中を押してあげたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

三学年進学コース主任

須藤 陽子

顧みれば、入学式のない一年生でした。コロナに振り回され、思うような三年間が果たして過ごせたのでしょうか。様々な我慢を強いられ、最高の高校生活だったと言って卒業してくれるでしょうか。昨年度、最大の行事である修学旅行が中止となり、がっかりした生徒も多かったことでしょう。それでも、三年生となり、少しずつ世間も正常化に動き始め、六月には修学旅行の代替として、ディズニーリゾートへの一泊二日の旅行が実施されました。その時の生徒の皆さんの生き生きした表情や、心底楽しんでる様子が、こちらまで心躍り、胸のつかえがとれた思いでした。その後、部活動の集大成

である様々な大会もほぼ実施が叶い、欠落した三年間の埋め合わせが少しできたように感じます。二期からは、進路一色に代わってきます。まだまだ出口の見えない状況ですが、心機一転、何事も諦めず、最後まで希望を持ち続け、ぜひとも最高の高校生活だったと言って卒業して行ってほしいです。

総合ビジネス科主任

田村 彰康

ビジネス科として、さまざまな取り組みをしています。その一つとして、インターンシップ（職場体験）があげられます。今年度は通常通り実施され、旅行会社・ホテル・会計事務所・自動車販売店・美容室など計十二社のご協力をいただき、生徒二十九名が参加しました。この行事を通じて、職業観を身につけ、企業がCSR活動（企業の社会的責任）に対してどのような取り組みをしているのかを実感することもできたと思います。また、経営活動の中で時間の大切さや、コミュニケーションスキルの必要性も感じたと思います。科の目標でもある「総合的にビジ

ネスの学習をする」という事の必要性を痛感したのではないのでしょうか。だからこそ、この高校三年間で、チームで動く姿勢や自己管理能力・倫理観・豊かな人間性・創造性などをしっかりと学び主体性のある行動を心がけてもらいたいと考えています。変化が激しく、グローバル化が進む現在のビジネス界で活躍するために様々な能力や知識・技能を身につけてください。今しかできないことが沢山あると思いますので、一日も早くそれらに気づきチャレンジ精神を持ち、お互いに積極的に取り組みましょう。

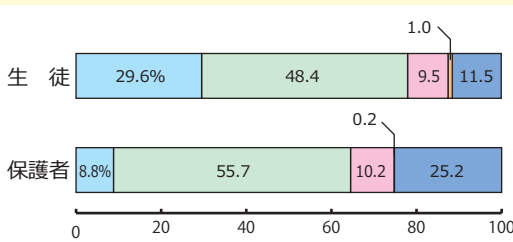


令和 4 年度 第一回学校評価アンケート

本校では教育の質の向上と学習環境の整備に向けて、生徒及び保護者の皆様に年 2 回「学校評価アンケート」をお願いしています。7 月に実施しました今年度第一回の結果を掲載いたします。特に次の事柄について多くのご意見・ご要望をいただきました。

- 授業について 授業の内容や進度については、教員間で相談しながら、わかりやすい授業を心がけています。また「授業アンケート」結果をもとに質の向上に努めています。
- 施設・設備について 生徒の安全性や必要性の高いものから改修・改善を行い、学習環境の整備に取り組んでいますが、時間を必要とする場合もあります。
- 校則について 一定の規律を保持しつつ、生徒の実態や社会の変化に応じて、随時検討・見直しをしております。今後とも、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

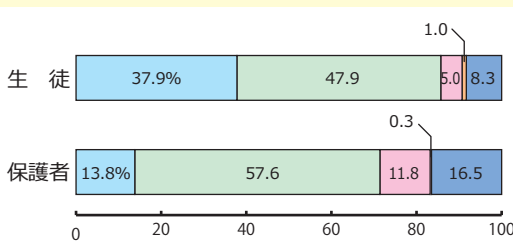
3 学校は、生徒の学ぶ意欲を高めるための、わかりやすく工夫された授業を行っている。



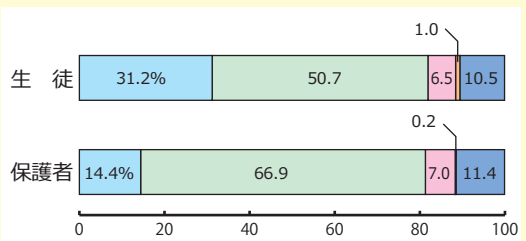
- よく当てはまる
- 当てはまる
- あまり当てはまらない
- 全く当てはまらない
- 分からない



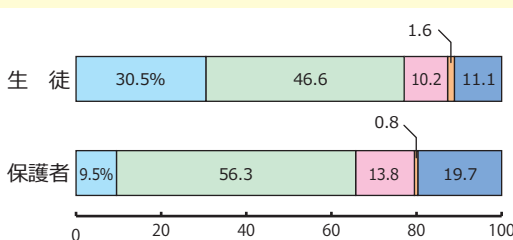
4 学校は、生徒の学習理解を助けるための補習やアドバイスをを行っている。



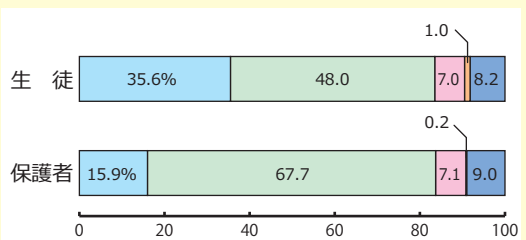
1 学校は、生徒一人一人の能力や特性を生かし、人間としての成長を助けるための学習や様々な活動等の機会を提供している。



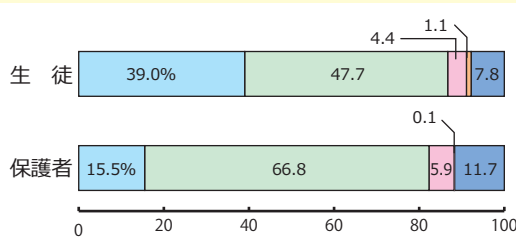
5 学校は、生徒の家庭学習のための適切な教材や課題を提供している。



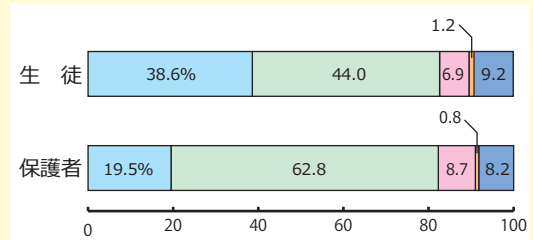
2 学校は、生徒の能力や技術向上のための学習環境や施設の整備に努めている。



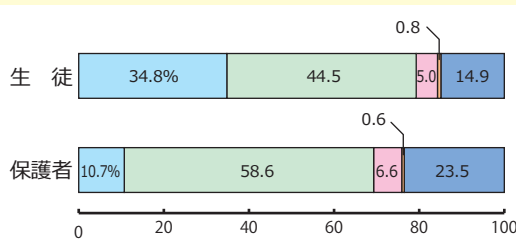
10 学校は、生徒が自分の適性や能力を把握するための適性検査や模擬試験を実施している。



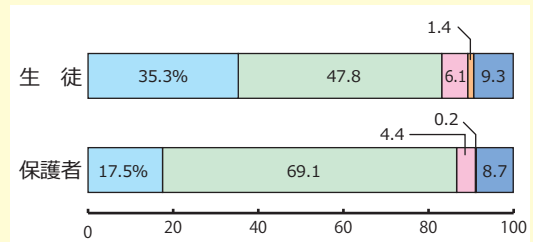
6 学校は、生徒の特性や関心を生かせる学習やクラブ活動の場を提供している。



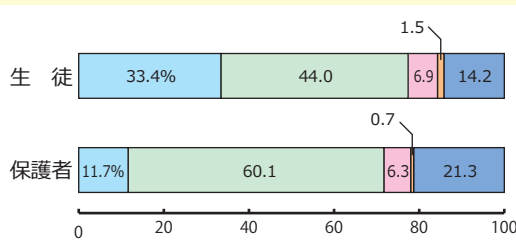
11 学校は、生徒の学ぶ意欲を高めるための、わかりやすく工夫された授業を行っている。



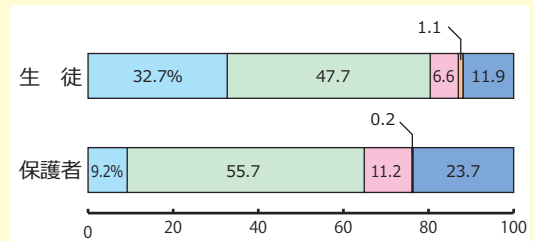
7 学校は、生徒の特性や健全な心身の育成を促すための学級活動や学校行事の場を提供している。



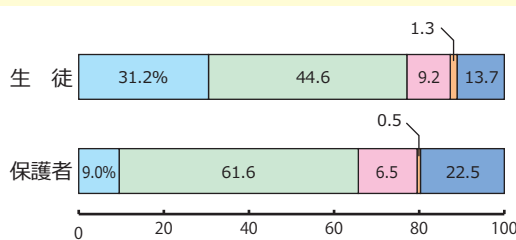
12 学校は、面談やアンケートを通じて生徒理解や人間関係の把握に努め、いじめ防止や早期発見に取り組んでいる。



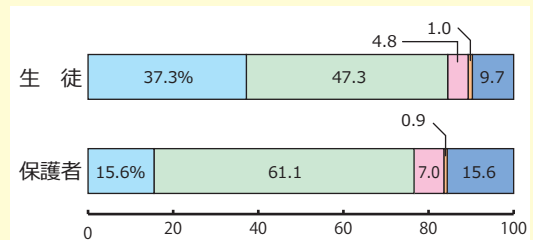
8 学校は、生徒の個性や興味を生かせる活動についての情報を、随時提供している。



13 学校は、集団活動や講演等を通じて命の大切さや思いやりの心を学ぶ機会を提供している。



9 学校は、生徒の進路希望を理解し、適切な助言や情報を提供している。



4月 新入生校内研修



2022
spring - summer
学園
トピックス

今年は3年ぶりに4月から通常通りの学校行事や様々な活動が実施できるようになりました。生徒たちにとって、友達と過ごす楽しい時間が戻ってきました。



4月 2・3年生日帰り旅行



F科2年生 東武動物公園

S科2年生 マリンピア日本海



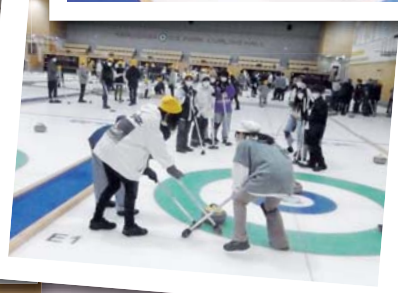
久しぶりのバス旅行で、
心も体も
リフレッシュ。



F科3年生
相模湖プレジャーフォレスト



S科3年生
軽井沢カーリングパーク



6月

3年生 1泊2日研修旅行 ディズニーリゾート (修学旅行代替行事)

修学旅行に替わる行事として、ディズニーリゾート研修旅行を実施。宿泊は、ディズニーアンバサダーホテル。朝から晩まで「夢の国」を満喫した2日間。

最高の
2日間!





6月 マナーアップ運動

雨の中、父母の会役員の方々による、登校時指導。



6月 芸術鑑賞

おもしろ落語鑑賞会
古典芸の魅力を体験。



7月 主権者教育講演会

18歳成人としての意識付け。
タレントのJoyさんも来校。



7月 全国高校野球 キャッチフレーズに選出!

全国高校野球キャッチフレーズに、全国6,965点の応募作品の中から、F科3年生渋谷瑠奈さんの作品が選出。



7月 富岡製糸場 城町通り商店街 活性化プロジェクト

富岡製糸場・城町商店街組合による顔はめパネル。F科3年奥村天音さんの作品が採用。



7月 情報メディア部大会出場!



セガ主催第4回
フューチャーカップ
ぷよぷよeスポーツで
熱戦を制し、
見事優勝!!



7月 1・2年観劇



1年生「アナと雪の女王」、2年生
「アラジン」。華やかで感動の「劇団四
季ミュージカル」を堪能。

8月 音楽部ロビーコンサート

高崎市役所ロビーにて歌声を披露。



8月 オープンスクール

商大スクールガイド (SSG) が誘導・案内・
説明・体験授業を担当。3400人の中学生・保護者が参加。



2022 関東大会・国体・全国大会出場結果報告 & 出場予定大会



ベップアーツ部

- R4.7.17 関東カラーガードコンテスト2022 高等学校の部 金賞
 出場メンバー F3-10 石井 美妃 中澤 知香 小林 杏音 F3-2 大滝 柚依 F3-1 山本 詩織
 F3-4 山本 久令亜 F3-8 須田 愛未 F3-9 武藤 結愛 F3-11 森田 碧 F2-4 富所 千咲
 F2-6 高橋 花菜 F2-7 瀧澤 紅杏 F2-8 田中 愛梨 F2-10 岡安 結里 F1-1 清水 菜
 F1-4 植松 美帆 F1-5 金田 璃子 小林 真帆 増田 楓華 F1-7 石丸 優奈 河原 唯愛
 F1-11 藤井 沙羅

バドミントン部

- R4.7.25~ 令和4年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
 7.28 男子ダブルス 2回戦敗退 F2-3 荻原大輝、S2-1 三田史向
 R4.9.16~ 令和4年度JOCジュニアオリンピックカップ
 全日本ジュニアバドミントン選手権大会
 9.19 男子ダブルス 出場予定 F2-7 小林蒼暉、F2-6 立石柚月



フェンシング部

- R4.6.10~ 関東高等学校フェンシング大会
 6.12 女子個人
 トーナメント 1回戦敗退 F3-8 大堀紗理七
 予選敗退 F2-7 植木あゆみ
 男子学校対抗 1回戦敗退
 F3-7 橋本 響、F3-10 長谷星弥、F2-7 松本 朔、F2-6 小島暁太、F1-11 木村珊瑚
 女子学校対抗 ベスト8
 F3-11 中里由加、F3-8 大堀紗理七、F2-7 植木あゆみ、F2-9 金藤沙弥、F2-9 榎坂菜々華
 R4.8.4~ 全国高等学校総合体育大会
 8.8 男子個人エペ
 トーナメント 1回戦敗退 F2-7 松本 朔
 男子個人フルーレ
 トーナメント 1回戦敗退 F2-7 松本 朔
 女子個人エペ
 トーナメント 1回戦敗退 F2-9 榎坂菜々華
 R4.8.19~ 国民体育大会関東ブロック予選
 8.21 少年女子 3位 F3-8 大堀紗理七



放送部

- R4.7.10 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 (Web審査) 準々決勝
 テレビドキュメント部門
 F3-2 奥村天音、F3-2 神宮彩佳、F3-3 宮島妃香莉、
 F3-3 高橋直也、F3-5 福田彩実、F3-5 小野葉奈、F3-5 梶田峰花
 ラジオドキュメント部門 F3-3 宮島妃香莉、F3-5 福田彩実
 R4.8.3~ 第46回全国高等学校総合文化祭放送部門東京大会
 8.4 オーディオメッセージ部門出場 F3-3 宮島妃香莉、F3-5 福田彩実
 ビデオメッセージ部門出場
 F3-2 奥村天音、F3-2 神宮彩佳、F3-3 宮島妃香莉、F3-3 高橋直也、F3-5 福田彩実
 F3-5 小野葉奈、F3-5 梶田峰花



文芸部

- R4.7.27~ 第17回全国高校生短歌大会 (短歌甲子園2022) 出場
 7.29 F2-2 松藤柚希、F2-2 高木唯花、F2-4 井上綾乃、F2-4 新井愛海
 R4.8.19 第23回関東地区高校生文芸大会 (かながわ大会) 出場
 F3-10 小川真美、F2-2 松藤柚希



少林寺拳法

- R4.6.4~ 第53回関東高等学校少林寺拳法大会 女子単独演武出場
 6.5 1回戦敗退 F2-11 大関 栞里

テニス部

- R4.6.11～ **第75回関東高等学校テニス選手権大会 (埼玉県狭山市)**
 - 6.12 男子個人シングルス F2-3 大野真寛 2回戦敗退 (ベスト16)
F2-11橋本宇弘 1回戦敗退 (ベスト32)
 - 男子個人ダブルス F3-11 富田一星、F2-11 橋本宇弘 2回戦敗退 (第5位)
 - 男子団体 3回戦敗退 (第5位)
F3-11 富田一星、F2-3 大野真寛、F2-7 尊馬一偉、F2-8 根本悠希、F2-11橋本宇弘
- R4.7.28～ **第79回全国高等学校テニス選手権大会 (高知県高知市)**
 - 7.31 男子個人シングルス F2-11 橋本宇弘 1回戦敗退
 - 男子個人ダブルス F2-3 大野真寛 F2-8 澤入春斗 1回戦敗退
 - 男子団体 1回戦敗退
F3-11 富田一星、F2-3 大野真寛、F2-8 澤入春斗、F2-11 橋本宇弘

空手道部

- R4.6.11～ **第51回関東高等学校空手道大会**
 - 6.12 男子団体形 Round 2 敗退
 - 男子個人形 Round 1 敗退 F3-8 浅川奏我
 - 男子個人組手 1回戦敗退 F3-8 田嶋歩希
 - 女子団体形 Round 2 敗退
 - 女子団体組手 5位入賞
 - 女子個人組手 3位入賞 F3-9 石井美羽
 - 〃 2回戦敗退 F3-5 千本松海鈴
 - 〃 2回戦敗退 F3-10 谷口優衣
- R4.8.17～ **第49回全国高等学校空手道選手権大会**
 - 8.20 男子個人形 Round 2 敗退 F3-8 浅川奏我
 - 男子個人組手 2回戦敗退 F3-8 田嶋歩希
 - 女子団体組手 ベスト16
 - 女子個人組手 2回戦敗退 F3-9 石井美羽
 - 〃 2回戦敗退 F3-10 谷口優衣
- R4.8.27～ **第53回関東空手道選手権大会**
 - 8.28 少年男子組手 1回戦敗退 F3-8 田嶋歩希
 - 少年女子組手 1回戦敗退 F3-9 石井美羽
 - 女子団体組手 1回戦敗退 F3-9 石井美羽 出場



バトントワリング部

- R4.7.31 **第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 パレード部門出場**
F3-11 山口桜空、F3-3 佐藤愛美、F3-4 山田麻祐子、
F3-5 重倉星夏、松本渉美、F3-8 並木綾音、F2-3 松島 凜、
F2-4 高橋穂菜美、F2-5 濱井幸那、F2-7 牧野優香、三木里伽子、F2-8 大塚 聖

アーチェリー部

- R4.8.9～ **第55回全国高等学校アーチェリー選手権大会**
 - 8.10 男子団体 23位
 - 男子個人 55位 F3-3 飯島良介
 - 〃 98位 F2-6 野尻健瑠
 - 〃 127位 F3-6 上原 涼
 - 女子団体 18位
 - 女子個人 71位 F3-6 堀江理奈
 - 〃 85位 S2-1 山室舞佳
 - 〃 101位 F3-8 堀口真歩
- R4.8.27～ **第77回国民体育大会 関東ブロック大会**
 - 8.28 少年男子 3位 (予選通過)
F3-3 飯島良介、F3-6 上原 涼、
F2-6 野尻健瑠
 - 少年女子 4位 F3-6 堀江理奈





編集後記

先日、2年生対象の上毛新聞社主催による文化講演がZOOMで行われました。講演者は、作家の島田雅彦先生でした。その中で「チャランポラン」のお話がありました。そもそも「チャランポラン」とはペルシャ語を語源とし、「用もなく歩き回る」、言い換えれば、「散歩する」という意味だと教えていただきました。何となく、あてもなく、いつもとは違う道を歩くことで、新たな発見があったり、考えを整理し心を静めたりできるとのことでした。

現代社会では無駄を省き「速い」ことに重きが置かれる傾向にあります。インターネット接続が少しでも遅ければイライラし、高速道路では前を

行く車をあおり、食事はファストフードで空腹を満たすのみ。映画やドラマは倍速で視聴し、ストーリーを追うだけ。微妙な表情やセリフの間をあげようことはさして重要ではないようです。

本来、情報化や機械化が進むことで私たちの生活に「ゆとり」がもたらされるはずではなかったのでしょうか。ところが、実際は、時間に追われ、社会の流れについていくのに必死になっているように感じられることがあります。時間や人の目を気にすることなく、ただひとり、気の向くまま無為に時を過ごすことこそが、現代人にとって最高の贅沢なのかもしれません。

(教頭 大澤)